

【特集】ILC関連セミナー 地域の未来を考える

10年後の一関で私たちは何をする？

岩手県立一関第二高等学校の1年生200人は「みんなで考えよう『将来のまちづくり』～10年後の一関で私たちは何をする？～」をテーマに講演やグループディスカッションを3回にわたって行い、グループごとにポスターを作製し発表しました。

ステップ

3

みんなが考えた 地域の未来を発表しよう!



各グループで議論・検討した内容をポスターにまとめ、グループごとに発表しました。まちづくりについて検討する過程で、将来のことを考えるだけでなく、現状を理解するため調査したことで、地元の魅力を再発見することができました。

ステップ

1

ILC実現後の未来を想像してみよう!



岩手県政策地域部国際室の和山アマダ氏を講師にILCの概要や地元の方々と移住する外国人の双方が暮らしやすい地域にするための多文化共生社会の必要性について学びました。

ステップ

2

グループで“まちづくり”について考えよう!

生徒たちは30グループに分かれ、ILC実現後の未来を想像し、自分たちが“今何ができるか”“将来何ができるか”を意見交換。まちづくりについて市職員に質問するなど活発な議論を行いました。



ポスター紹介

生徒が発表したポスターの一部を紹介します。



外国からやってくる研究者でも楽しめる創作もち料理を試作してみました。

学術研究都市のまちづくりについて、つくば市役所にインタビューしました。

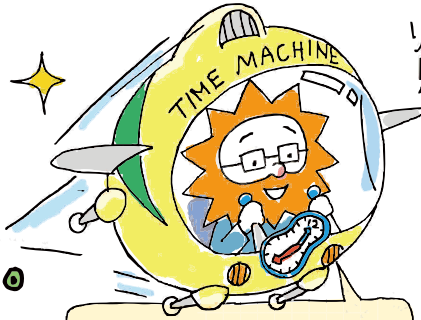


ネットワークサービスを充実させ、どこでも情報を得られるシステムやコミュニケーションが図られるシステムを利用する、利便性の高いまちづくりを検討しました。

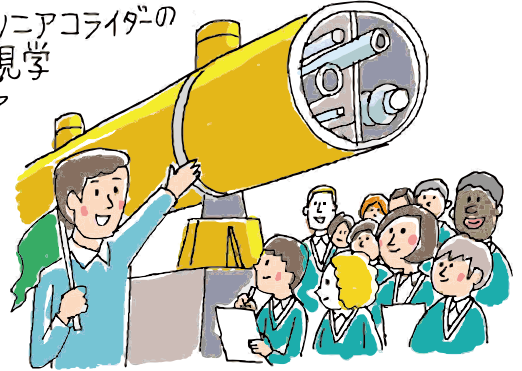
CONTENTS

- ★ 特集 地域の未来を考える
- ★ おしえて!!ヒッグス博士
- ★ ピックアップニュース
- ★ お知らせ
- ★ ニュースクリッピング

おしえて!! ヒッグズ博士 近未来への タイムスリップ。



リニアコライダーの
見学

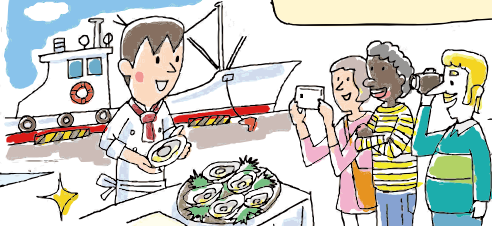


中学や高校の修学旅行では、ILC関連施設や世界遺産
平泉をめぐるコースが人気になっているよ

世界中の企業がILCの技術を活用
するため東北に進出している。地元
の企業もILCの装置や機器の開発に
携わり世界的企業として活躍し
ているんじゃ!

シェフの いっちゃん

地元の肉や野菜、海産物を
海外の方に紹介しているよ。
今日は三陸の海で採れたホ
タテヤカキをその場で調理、
食べてもらおう。海外の
研究者にも大人気!



研究者のせっちゃん

ILCの研究は実験装置の
長さを伸ばしたり、機器の
技術の進歩で、新しい研究
が開始され、まだまだ実験
が続いているんじゃ



せっちゃんノーベル賞受賞!!
(せっちゃん60才)



私、新しい素粒子を
発見して「ノーベル
賞」を受賞したわ

ILCでの研究は初めに期待されていた実験成果
だけでなく、想像もつかなかった成果が見つ
かって、みんなの暮らしに役立っていくのよ

「サイエンス×ハローキティ」 NEW 新グッズ販売開始!

フードジップパーカー
新Tシャツ

販売サイト <https://sciencecity.shop-pro.jp/>
サイエンス×ハローキティ 検索

LINEスタンプで ILCを応援しよう

2マイク口で
お知らせ
OK

携帯アプリLINEのスタンプショップで検索!
ゆるっと素粒子物理 検索

ILC NEWS

Let's bring the ILC to Tohoku
いちのせき
リニアコライダー通信

2019.3 vol.28

発行 岩手県一関市
編集 市長公室 ILC推進課
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
TEL 0191-21-2111 (内線8646・8647) FAX 0191-21-2164
URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/>
E-mail ilc@city.ichinoseki.iwate.jp

専用ホームページ、SNSで情報を発信中!

一関市国際リニアコライダー推進ホームページ
ILC NEWS WEB
International Linear Collider

くわしくはこちらで検索!
一関市 ILC 検索

Facebook
Twitterでも発信中!

ニュースクリッピング

3月7日までに日本政府の表明を期待

国会議員の超党派によるリニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟が12月7日、国会内で総会を開催。

総会に同席した国際共同研究推進組織、リニアコライダー・コラボレーション (LCC) 代表のリン・エバンス氏は「3月7日に東京で国際会議※が開かれる。それまでに日本政府が国際協議を始める意向を表明することがきわめて重要」と発言しました。

※国際会議 国際将来加速器委員会 (ICFA) と下部組織のリニアコライダー国際推進委員会 (LCB) が開催される。

日本学術会議が文部科学省に回答を提出

文部科学省から審議を依頼されていた日本学術会議は12月19日、回答として「国際リニアコライダー計画の見直し案に関する所見」を提出しました。

所見は「政府におけるILCの日本誘致の意思表示に関する判断は慎重になされるべき」という内容でした。

※日本学術会議の所見は、日本学術会議のホームページで閲覧することができます。

政府等への要望

東北ILC推進協議会は12月21日、文部科学省、内閣府、自由民主党へ「日本政府による国際協議の開始を早期に表明すること」などについて要望しました。市長は協議会の一員として参加しました。

ILC現状説明会

一関商工会議所は1月10日、市内ホテルを会場に会員を対象としたセミナーとして「ILC現状説明会」を開催しました。

講師の東京大学素粒子物理国際研究センター特任教授の山下了氏は「国際リニアコライダー (ILC) の“いま”」をテーマに講演しました。

県協議会がILC講演会を開催

岩手県国際リニアコライダー推進協議会は2月7日、「ILC講演会」(会場：盛岡市)を開催。東北ILC準備室室長の鈴木厚人氏(岩手県立大学学長)と高エネルギー加速器研究機構(KEK)名誉教授の吉岡正和氏を講師にILCを取りまく最新の国際情勢等を解説しました。

イベントでILCをピーアール

12月9日、なのはなプラザで「一関高専によるロボコンと3Dプリンタの世界2018」(主催：一関地区まちづくり推進協議会)が、2月20日、一関市総合体育館で「第13回企業情報交換会inいちのせき」(主催：岩手県南技術研究センター)が開催され、パネル展示やVR(仮想現実)体験を実施するなど、ILCをピーアールしました。

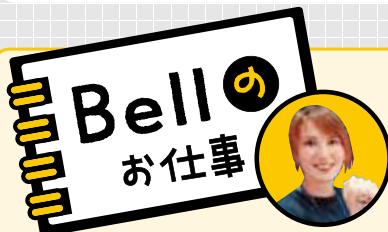


ILCをテーマにした漫画の連載開始

ILC100人委員会のメンバーでもある漫画家の弘兼憲史氏は、自身の作品である漫画「会長 島耕作」で、ILCをテーマにしたストーリーを描き、週刊漫画誌(1月24日発売)での連載を開始しました。

ILC推進モデル校が成果発表

県が実施する「未来のILCを担う人材育成事業」のILC推進モデル校8高校のうち、6校(盛岡第一、花巻農業、水沢、水沢工業、宮古商業、一関第一)は2月19日、成果交流会を開催し、各校の取り組み内容を発表しました。



一関のもち料理を紹介する雑誌の取材に参加しました。“もち本膳”の作法を学びました。さて、今回は東京で行われたイベントを紹介します。

東京で珍しく雪が降った2月9日、東京から岩手を盛り上げるイベント「岩手わかすフェス2019」に参加してきました。高エネルギー加速器研究機構(KEK)に勤めるイギリス人研究者がILCを解説。海外出身の県内在住3人によるガールズトークでは、岩手に来たきっかけや岩手での暮らしを紹介し、たくさんのお客さまと楽しい交流ができました。また、ILCを紹介するブースを設置し、VR(仮想現実)体験などでILCをピーアールしました。



国際化に向けた取り組みなど、国際化推進員の仕事の内容を皆さんにお知らせします。





ピックアップニュース

▶ いちのせきサイエンスカフェ④



今年度4回目となる「いちのせきサイエンスカフェ」は1月26日、一関図書館を会場に開催しました。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）シニアフェローの川口淳一郎氏が「小惑星探査機『はやぶさ』の大冒険～はやぶさプロジェクトのすべて～」をテーマに講演し、参加者の質問に答えるなど意見交換を行いました。

▶ 学生が署名を提出



東北大学2年生の金野遼大さんは2月21日、リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟会長の河村建夫衆議院議員に5,664人分の署名を託しました。この署名は、岩手医大2年の浅利寛喜さんが発起人となり金野さんをはじめ同級生ら有志と平成29年3月から活動してきたものです。

★市では、自治体や各種団体などが主催するILC勉強会・講演会に講師を派遣します。市職員が講師としてお伺いするほか、実施内容に応じて研究者や県のILCキャラバンの派遣についてアドバイスを行っております。

▶ 中学生ILC特別授業



市では、市内の中学校を対象に「ILC特別授業」を実施しています。1月・2月には、高エネルギー加速器研究機構（KEK）素粒子原子核研究所研究員の倉田正和氏を講師に、8校（磐井中、桜町中、萩荘中、大原中、興田中、千厩中、東山中、川崎中）で授業を行い、ILCの概要や実験の重要性を学びました。

▶ ILC実現を熱望する住民の会



「ILC実現を熱望する住民の会」（会長：一関商工会議所会頭佐藤眺信氏）が1月31日に設立されました。ILC実現のため住民の熱意で政府の意思表明を後押しするために発足したもので、一関市と平泉町の農商工関係17団体が参加しました。

What brought you to Ichinoseki?

一関でこんなことしています

ティン ヴァン ティエン

Dinh Van Tien さん (24) ベトナム出身

「日本で働きたい」と強い意志を持って来日し、2017年8月から市内企業で技能実習生として働いています。職場の皆さんが優しく教えてくれるので、働くのが楽しいです。日本の皆さんとたくさん交流したいので、

日本語を毎日勉強しています。一関夏まつりがとても楽しく、特に印象深かったのは、美しい浴衣姿と美味しいビール。初めて見た日本の冬景色にとっても感動しました。今後は日本中を旅してみたいです。

- 趣味 バレーボール、カラオケ 音楽を聴くこと
- 好きな場所 中尊寺
- 好きなイベント 磐井川川開き花火大会

